

たんげ「しかへたい」！『弘前ぐらし』の魅力

心躍る四季にどっぷりつかるとの幸せ

2016年に愛知県名古屋市から転居した時からずっと、弘前ぐらしは私のツボにはまっています。来てよかったなあといつも思っています。移り行く四季はそれぞれ濃厚で際立っており、その美しさは「人が作り出せないもの全てがここにある！」と感じるくらい。折々の岩木山は表情豊かで、津軽のシンボルとなっているのもうなずけます。

私は和楽器やお祭りが好きなので、ねぶたまつりを本場で体感できることは本当に幸せ。また、歴史的建造物や祭事も奥深く、楽しみは尽きません。（相坂）



歴史が息づく大好きなまち

大都会・仙台から弘前に移住した私は、正直不安しかありませんでした。都会を経験すると、田舎の生活が不便に感じてしまうのではないかと思っていたからです。

私が弘前に来て一番感じたのは、「歴史が息づいている」ということでした。ねぶた、岩木山、弘前城。おばあちゃんのそのまたおばあちゃんが見ていた景色が、今も変わらず残っていることがとても新鮮だったのです。街が整備されたり、新しい建物が建ったりすることはもちろん大切ですが、歴史が息づく弘前が、私は本当に大好きです！（黒岩）



言い表せない魅力のあるまち

東京から弘前に移り住んで10年。最初は1年という期間で移住したのですが、気づけば10年がたちました。東京に戻る機会は何度かありましたが、戻らなかった理由は弘前の街や人、風土が私には合っていたからです。私自身のルーツが青森にあったことがもしかすると理由の一つになっているのかもしれませんが。弘前は都会に比べると小さいです。間違いなく地方都市で不便に思うこともあります。それ以上に街や人が熱く、数値や言葉だけでは言い表せない魅力があると思っています。（工藤）



■企画・編集：弘前ぐらし市民ライター2期生 ■発行：令和5年3月・弘前市企画部企画課
■住所 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1番地1
■電話 0172-40-7121(直通) E-MAIL : kikaku@city.hirosaki.lg.jp

市民ライターの
記事はこちらから
チェック!!!



市民ライター通信
Vol.01

弘前ぐらし たんげ〇〇!

弘前で暮らす日々が
「たんげ楽しい!」
「たんげ素敵!」
となるように...

市民ライターが
弘前への愛をつづりました

すごい、
とっても、などを表す津軽弁
「たんげ」

・・・市民ライター通信目次・・・

P1 たんげ「あずましい」場所
P2 たんげ「めえ」食
P3 たんげ「しかへたい」
弘前ぐらしの魅力

たんげ「あずましい」!

SPOT

「弘前ぐらし」で見つけた、
私たちのとっておきの場所を紹介します

弘前市役所駐車場から見る岩木山

弘前市庁舎本館は、20世紀を代表する建築家・前川國男が手がけた建物のひとつで、市民に親しまれている国の登録有形文化財です。市役所の駐車場から望むこの景色が、私のおすすめスポット。季節や時間帯でさまざまに楽しむことができます。所用のついでに、しばし見とれる時間が何よりの気分転換になっています。



相坂



- ① 三重県菰野町
- ② へずねえじゃあ (…!? 戦隊もの!?)



弘前にある忍者屋敷

忍者って何者なのか。タイムスリップできたらのぞいてみたいですね。実は、日本で唯一現存する甲賀流忍者屋敷が弘前にあるんです！それが、私のおすすめスポットの「弘前忍者屋敷」。

うぐいす張りの床をそろりそろりと進んでいくと、巧みな仕掛けや隠し部屋があり、背後に人の気配や視線を感じたような。。。「早道之者 (はやみちのもの)」と呼ばれた彼らの末裔が、今も、どこかで弘前を守っているのでは？と想像が膨らみます。

まつお



- ① 福島県いわき市
- ② びょん! (良くまねしていました)



緑の相談所横のベンチ

私のお気に入りスポットは、弘前公園内にある緑の相談所の横にあるベンチコーナーです。屋根もあるし、いつも人がいなくて静かなのでのんびりひと休みするのにぴったり。

相談所前の自動販売機でリンゴジュースを買って、向かいにある植物の展示を眺めながら休憩するのが私の散歩ルーティンです (笑)

新道



- ① 石川県金沢市
- ② めごい! (言われたい!)



たんげ「めえ」!

FOOD

弘前の「食」はおいしいだけじゃない?
私たちがお気に入りの弘前の食をお伝えします

おやき

大判焼き、今川焼き、回転焼き。ふんわりした生地にあんこが詰まっている食べ物は全国的に呼び名が違うことで有名ですが、弘前では「おやき」と呼ぶ人が多いです。

長野県出身の私にとっては、おやきと言えば長野の郷土料理。移住した頃は「あのおやきが!?!」と思っていたのですが、お店で作られていたのは、一個70円前後で購入できるコスパ最強のおやつでした。生地はもちもち、冷めてもおいしい。私はいつもまとめ買いしています!



黒岩



- ① 長野県高山村
- ② じゃわめぐ (イチバン使ってます)



阿保

- ① 青森県弘前市
- ② さんじゃらっと



大王当て

木型で抜いた生菓子「大王当て」は、弘前では昭和初期から親しまれている「津軽当物駄菓子」のひとつ。大中小3種の大きさがあって、えんま大王の絵が印象的なくじを引き、「大王」が出たら大、「親」なら中、「子」は小サイズの生菓子をもらえます。盆や正月など、親戚が集まるときに今でも遊びながら味わっています。ずっと残ってほしい、弘前の食と文化のひとつです!

リンゴ

言わずと知れた弘前市のリンゴは生産量日本一。食べられるリンゴの種類もおそらく日本一。王道品種「ふじ」はもちろんのこと、王林やとき、つがるやジョナゴールドといったさまざまな品種を簡単に手に入れることができます。私の購入先は地元の直売所。同じ品種でも作った農家や地域によっても味が異なるため、ラベルに載っている農家の名前や地域を確認するようになりました。



工藤健

- ① 埼玉県行田市
- ② わいは! (どんだば!)



きょうもあしたも弘前ぐらし

弘前の観光シーズン



© 黒岩唯